

ほくよう 道徳だより

北陽小学校

2017. 3. 1

3学期号

今年度、本校では「勇気」「礼儀」「親切、思いやり」の3つの内容項目を重点目標として、道徳の授業を中心に取り組んできました。3学期の道徳だよりでは、その3つの中から各学年の子どもたちの振り返りを載せました。道徳の時間だけでなく学校生活全体において、またご家庭と連携して取り組んでこそ道徳的実践力が養われていくものです。ぜひ、お子さんと一緒にご覧ください。

一年生 2ー(2) 親切・思いやり

「はしのうえのおおかみ」

まわりの人にしんせつに

できたこと

・つばきのさとうえんで、すべりだいにならないときに小さいこがうしろにならないので、ゆずってあげました。

・ほいくえんで、わたしより小さいこがひとりだけ、じつとしていたので、かわいそうだったからいっしょにあそんであげました。

・ともだちが、てつぼうからおちたとき、わたしがほけんしつにつれていってあげました。いっしょにてをつないであげました。

・ともだちとあそんでいて、ともだちにとげがささって、「だいじょうぶ」と、いってあとからともだちのすびーどにあわせてあるきました。

・ほいくえんるとき、ともだちがおふとんをおとしちゃったから、やさしくひろってあげました。



二年生 2ー(2) 親切・思いやり

「はしの上のおおかみ」

思いやりの心について考えよう

・おおかみがゆずらなかつたら、わたしが1回もどって「お先にどうぞ」とゆずります。わたしは親切な人になりたいです。わけは、親切にしてもらった人に喜んでもらいたいからです。

・わたしは、学校で少しお友達にいやな気持ちにさせてしまったことがあります。だけど、おうちにいたとき、やっぱりあやまらなといとけないなと思いました。つぎの日、お友達が話しかけてきて「ごめんね」と言ってくれました。お友達は悪くないのに、なぜ?と思いました。そのお友達にお手つだいをしてあげました。

・いじわるされて、しかえしにぼくだっていじわるしたけど、あとで心がいたんであやまって、今度から親切にできるようにになりました。ぼくは、今度からいじわるをしない人になりたいです。

・わたしは、いやなことをされると、すぐ言葉づかいがわるくなってしまうので、相手にいやな思いをさせないようにしたいです。

三年生 2ー(4) 感謝

「あの日のこと」

校務士さんへ 感謝の手紙

・いつもトイレをきれいにしてくれてありがとうございます。こしはらさんがきれいにそうじしてくれるおかげで、気持ちよく使うことができます。トイレトパーパーがなかったら、トイレトパーパーがある場所を探してかえておきます。

・毎日、学校中をそうじをしていただきありがとうございます。どれだけよごれていても、いっしょうけんめいにきれいにしてくれてありがとうございます。これは、こしはらさんやいまいさんのおかげなんだと思います。おかげで楽しく遊べます。これからは、トイレでちゃんと流したか、トイレトパーパーはおちていないかと気をつけながらトイレをします。

・わたしは、トイレに行つてトイレトパーパーがおちているときも、かくにんしないで行ってしまうので、今度からはちゃんとかくにんしようかと心にちかいました。うそをつかないでかくにんするということを学べてうれしかったです。



【四年生】 2―(1) 礼儀「おねがいます」

相手のことや物や道具に

対して、大切に思う気持ちを

表しているかな



・水泳を習っていて、始めに
プールにあいさつをする意味が

分からなかったけど、この道徳で、練習させてもらっている、使わせてもらっているという感謝の気持ちをもってあいさつしようと思いました。

・「おねがいます」や「ありがとうございます」というと、自分も気持ちよくなるし、相手もうれしくなるので、礼儀は大切だなと思いました。

・私は、絵画教室で使う道具などにしか「おねがいます」と言ったことがないので、今度からは、人にはもちろん、使わせてもらう物にも感謝の気持ちをこめて「お願いします」と言えるようにしたいです。

・いつもピアノの練習でピアノを使うけど、いつも感謝の気持ちがなく、当たり前のように使っているの、これからは感謝の気持ちをもってピアノを練習しようと思いました。

・相手に負けてくやしなくても、相手をしてくれてありがたうという気持ちを持つたり、鉛筆が短くなったりして、捨てる時には今までありがたうという気持ちを伝える大切さが必要だと思いました。

【五年生】 2―(2) 親切・思いやり

「父の言葉」黒柳徹子

困っている人がいたら…

・私は友達が消しゴムを無くして困っている時、一緒に探



したことがあります。これくらい小さなことならできたけど、大きな勇気が必要な時は、なかなかできないと思います。でも、その時は勇気を出して、自分のことばかり考えるのではなく、相手のことを考えて親切に対応したいと思います。

・困っている人を見たら、やっぱり相手の立場を考えて行動を起こすべきだと思いました。そうしないと自分がやさしさだと思つてやったことが空回りする時もあるからです。これからは、転んでいる人や重い荷物を持っている人を見たら助けてあげようと思いました。

・「良いこと、悪いこと、自分がしたこと全部自分に返ってくるよ」と家族の人から言われています。私はこれを信じて行動に移すことを心がけています。これからは、困っている人がいたら、助けるのを当たり前にしたいです。

・人それぞれに親切があるけど、相手は？と考えることが大切だと分かりました。これから落とし物を見つけたら、持ち主が探しているかもしれないから、相手は？と考えて行動しようと思いました。

【六年生】 1―(2) 希望・勇気・努力

「また勝てばいい」羽生善治

自分がくじけそうになつたら…



・僕は、習字を習っていて、字が難しくてなかなか昇段できなくて、あきらめそうなのがあったけど、僕にはもつと努力が必要だと考えて、他のことをあきらめずがんばっていきたいです。

・今、私はトランプリンでレイアウトとバラニーという技がなかなか上手いかず、くやしいときがあつたけど、イメージトレーニングや、おなかに力をいれたりしてがんばらないといけないなと思いました。

・あきらめたら何も成長しないし、何もできないからあきらめない方がいいと思いました。

・あきらめるところはまだ、努力もしてないので、まずは送る会の練習をがんばります。

・くじけそうになったとき、今まではにげてばかりだったけど、これからは努力したいです。

・夢や目標を達成したいという気持ちを強くもつたり、思い出したりして、自分に負けないように努力したいです。

・今までの自分は、負けるとただくやしいという思いだけ、強くなるうとしていませんでした。でも、羽生さんの努力を見て、自分も見習おうと思いました。